

作者プロフィール

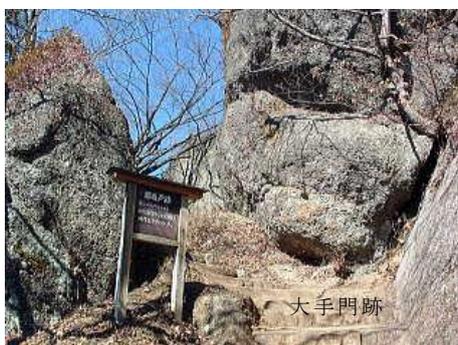
柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒 元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

岩 殿 山ー伝説の大岩壁ー



大月駅から仰ぐ岩殿山

10月末、山梨県・岩殿山（634m）に出かけた。ご婦人方も交えた気楽なハイキングで、下山後の橋倉鉱泉1泊大宴会が目玉商品である。岩殿山は、JR中央本線・大月駅の北側すぐそばの切り立った大岩壁（鏡岩）が目を引き山で、武田家家臣小山田信茂の山城跡である。大月の駅前通りから桂川に掛かる高月橋を渡り、大岩壁に刻まれた階段状の舗装道をジグザグに登り、30分程で中腹の丸山公園に着く。桂川対岸に大月市街を見下ろすここ一帯は、春の桜の名所でもある。



大手門跡

更に登り、大手門跡の大岩を抜け、20分程で稜線上の展望

台に着く。更に一段上にある本物の山頂の本丸跡まで登ったが、そこはパラポラアンテナ群の林立で風情もないので、下の展望台のベンチまで下りてお茶を沸かしてゆっくり休憩をとった。富士山、御正体山、三ツ峠山、御坂山塊の山々の展望が何よりのご馳走である。

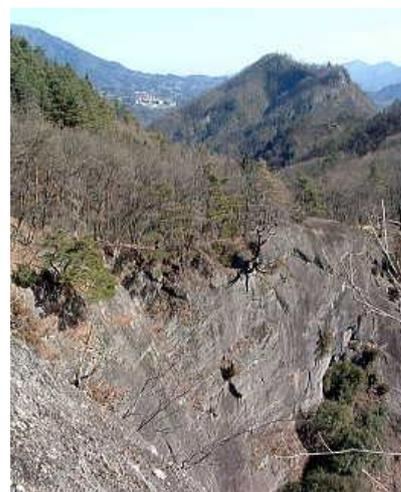
12時、岩殿山を後にする。大手門跡まで下り、右へ山腹を巻いて筑坂峠を過ぎると兜岩のクサリ場が現れる。ガリー状の岩場登り

とカニの横バイ状のトラバースは、なかなかスリルがある。兜岩を越え、稜線をたどって天神山を過ぎ、北西に向かうゆるやかな起伏の尾根道を一登りすると、稚児落としの大岩壁の真上に飛び出す。岩殿山落城の折、追っ手に追われた城主小山田信茂の内室が、乳飲み子（稚児）をこの岩壁から投げ落とし、自らも自害して果てたという伝説の地である。垂直高にして100m余もあろうか、割れ目一つない逆U字形の大岩壁のすさまじい様相は圧巻である。



稚児落としの大岩壁

稚児落としを過ぎ、雑木林の中の急斜面を下って浅利の部落に出たのが午後2時半。それからテクテクと車道を歩いて、大汗をかいて橋倉鉱泉にたどり着いたのが、3時半近かった。その夜の橋倉鉱泉は、ゆっくり温泉に手足を伸ばし、
稚児落としからの岩殿山本峰名物の馬刺



しと山菜料理をサカナに、すっかり酒も進んだ。しかしその後の時間、ご婦人方がリードする恐怖のカラオケが待っていた。